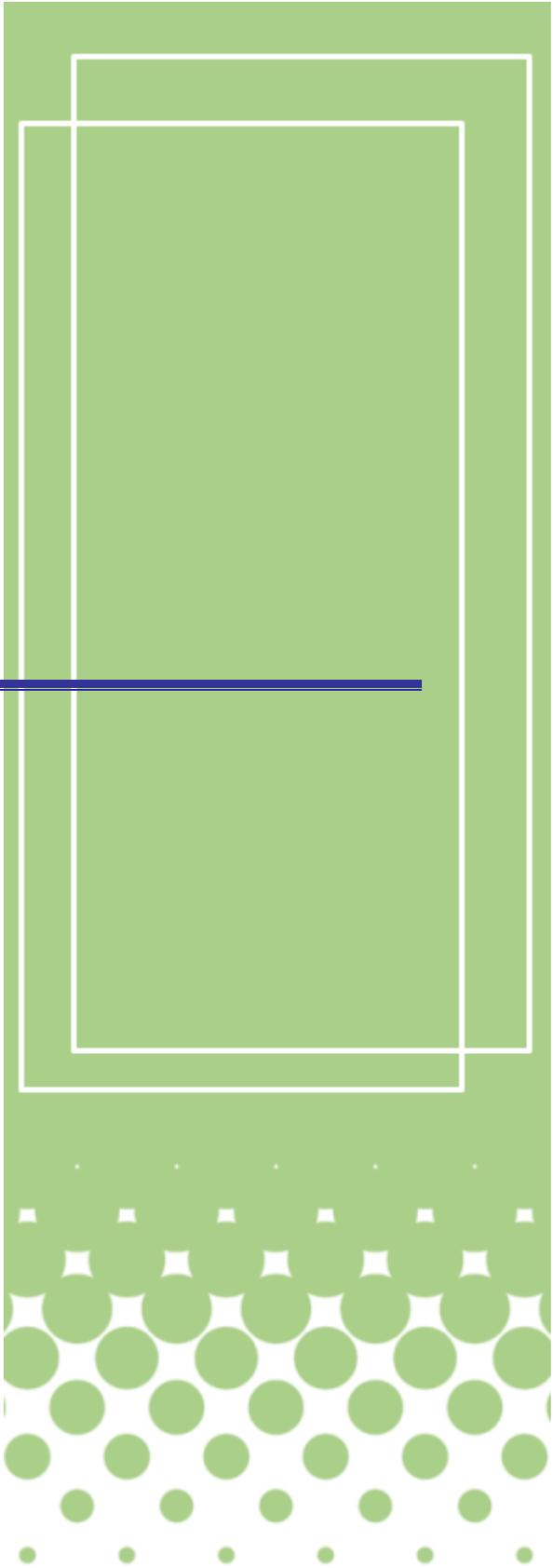


コンバーター操作マニュアル

---





# 目次

<b>1</b>	<b>R4コンバーターのながれ</b>	<b>4</b>
1.1	R4へのデータコンバート	5
1.2	コンバート結果の確認	7
<b>2</b>	<b>事前確認</b>	<b>9</b>
2.1	プログラムについて	9
2.2	コンバート対象システム	10
2.3	コンバート対象項目	10
2.4	コンバート元とコンバート先について	11
2.5	コンバーターと既存アプリの同時処理	12
2.6	コンバート実行前の確認事項	12
<b>3</b>	<b>各機能の説明</b>	<b>14</b>
3.1	コンバーターの画面構成	14
3.2	検索	15
3.3	実行結果確認	15
3.4	移行条件設定	18
3.5	コードチェッカー一覧表	19
3.6	バージョン情報	21
3.7	【参考】同一会社の判定について	21
<b>4</b>	<b>コンバートデータの修正方法</b>	<b>22</b>
4.1	会社コードの変更方法	22
4.2	共通基本情報の関連付けを変更する方法	24
4.3	その他の確認内容	25
4.4	コンバートデータの容量換算(参考)	26
4.5	コンバートログ一覧	27

## 商標等について

---

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

© SEIKO EPSON CORPORATION 2014. All rights reserved.

2014.05-00

# 1 R4コンバーターのながれ

R4 コンバーターは、エプソン会計・税務ソフトInterKXシリーズ、応援シリーズのデータを、R4シリーズのデータとして移行するプログラムです。移行をしても、既存アプリケーションにはデータが残ります。

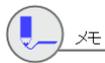


注意

## ◆ユーザー情報の移行(設定)はお済みですか？

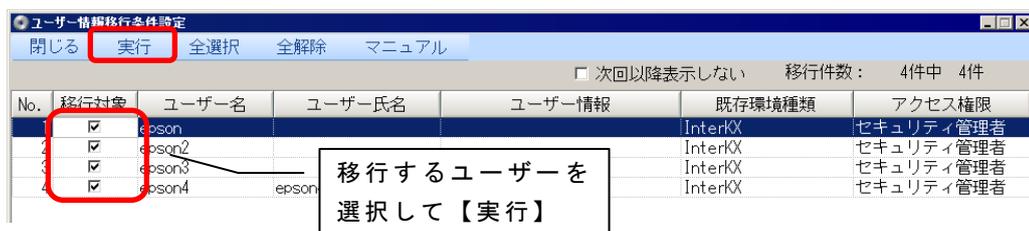
R4 シリーズネットワーク版をお使いになる場合は、新たにユーザー情報を設定する必要があります。InterKXシリーズまたは応援シリーズネットワーク版をお使いになっていた場合は、既存版で使用しているユーザー情報をR4用に移行することができます。特に、データごとに利用できるユーザーを設定している場合は、データを移行する前にユーザー情報を設定しておかないと、データ利用者情報が移行されませんのでご注意ください。**ユーザー情報の移行処理は、初回Eiボードを起動したときに表示されます。**

## ◆ユーザーの移行画面は、1人でも移行すると、次回は表示されません。



◆財務応援Superネットワーク版と財務応援Aiはユーザーは移行しません。

### 【Ei ボード起動時のユーザー情報移行画面】



## ◆R4 アプリケーションの接続先を確認してください。

コンバートされたデータは、R4 アプリケーションの接続先フォルダーに作成されます。ネットワーク版の場合は、接続先がサーバーになっている状態でコンバートしてください。接続先がスタンドアロン(自分のPC)の場合は、自分のPC内にデータが作成されます。

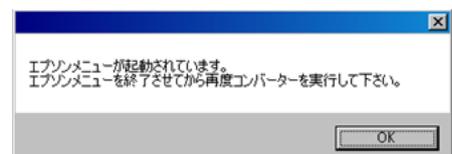
## ◆次のようなデータは、コンバートできません。

コンバート元のデータが次の状態になっているとコンバートできません。あらかじめデータの状態を確認しておいてください。

モバイル持ち出し中会社	サーバーに返却してください。
Weplat データ共有会社	財務でデータ共有を解除してください。
既存アプリ使用中の会社	既存アプリケーションで処理を終了してください。
コンバート済み会社	コンバート済みのデータを再度コンバートしたい場合は、R4側のコンバートされた会社を削除してから行ってください。

## ◆InterKX ネットワーク版 MS8000 以前の場合、エプソンメニューを終了してください。

InterKX ネットワーク版 32ビット版 OS (MS8000 以前) で、InterKX 本体でコンバートする場合、エプソンメニューを起動した状態でコンバーターを起動すると、右のメッセージが出て起動できません。エプソンメニューを閉じてから、コンバートを開始してください。コンバート中もエプソンメニューは起動できません。



# 1.1 R4へのデータコンバート

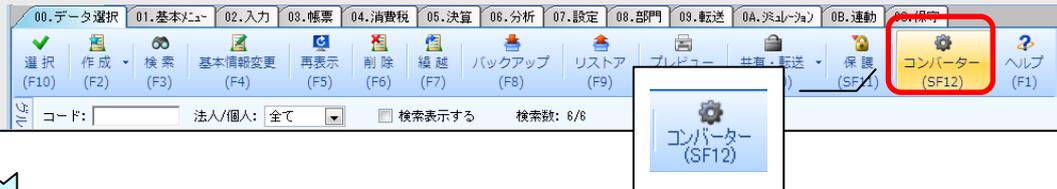
データコンバートの流れは次のとおりです。

## コンバート作業

### 1 コンバーターの起動

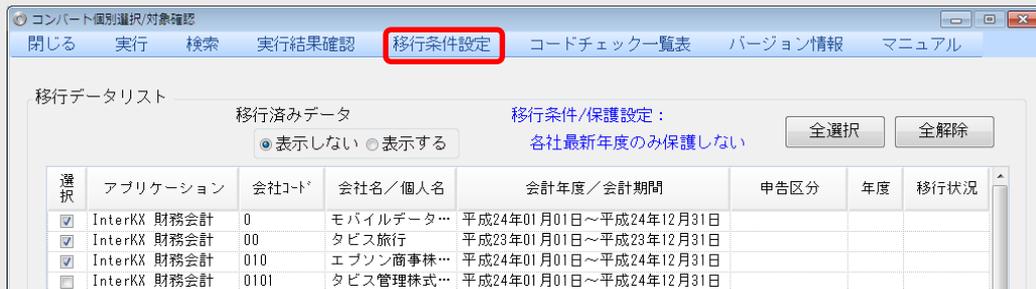
R4アプリケーションを起動して、会社データ選択画面から【コンバーター】を選択します。

※コンバーターボタンが表示されない場合は、コンバーターをセットアップしてください。



### 2 移行条件設定の確認

最初に【移行条件設定】でコンバートの条件を確認してください。



#### 【移行条件設定画面】

##### 移行条件設定

##### 移行中のエラー発生時の動作

- 確認メッセージなし (エラーのデータはメッセージを表示せず移行処理をスキップし、次の処理に進みます)
- 確認メッセージあり (エラーの都度中断か続行かのメッセージを表示)

##### ファイル設定

ログ出力先 C:\Users\%epson%\Documents

参照

##### コンバート後の基本情報の保護

コンバート後の会社の基本情報を「保護=書込禁止」状態にするかを選択します。

- 1. すべて「保護=書込禁止」状態にする (過年度データをコンバートする場合など)
- 2. すべて「保護=書込禁止」状態にしない (最新データをコンバートする場合など)
- 3. 同一会社データを複数年度まとめてコンバートする場合、最新の事業年度データのみを「保護しない」状態にする

保護について

##### 空き容量チェック

コンバート時のハードディスク空き容量チェック

コンバート先のハードディスクドライブの容量が 1024 MB以下になったらコンバートを中止する。



◆ 移行条件設定の初期値は次のように設定されています。

エラー発生時の動作	確認メッセージなし： コンバート中にエラーが発生してもメッセージを表示せずに次のデータのコンバートを行います。
ファイル設定	ログファイルの出力先： ¥USERS¥ユーザー名¥Documents
コンバート後の基本情報保護	同一会社データを複数年コンバートするとき、最新のみを保護しない状態
空き容量チェック	コンバート先ハードディスクの容量が 1024MBになったらコンバートを中止する



### 3 コンバート対象データの選択

コンバート元のアプリケーションの会社が表示されますので、コンバートする会社にチェックを付けて【実行】を選択します。

移行データリスト

移行済みデータ  表示しない  表示する

移行条件/保護設定： 各社最新年度のみ保護しない

選択	アプリケーション	会社名/個人名	データ	会計年度/会計期間	申告区分	年度	移行状況
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計			平成24年01月01日～平成24年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	00	タビス旅行	平成23年01月01日～平成23年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	010	エプソン商事株...	平成24年01月01日～平成24年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0101	タビス管理株式...	平成24年01月01日～平成24年12月31日			



### 4 コンバート処理の実行

コンバート実行確認画面が出たら【OK】を選択すると、コンバートが開始します。データによってはコンバート処理に時間がかかります。完了画面が出るまでしばらくお待ちください。

移行状況リスト

移行条件/保護設定： 各社最新年度のみ保護しない

アプリケーション	会社コード	会社名/個人名	会計年度/会計期間	申告区分	年度	移行状況	移行開始日時	終了日時
InterKX 財務会計	0	モバイルデータ...	平成24年01月01日～平成24年12月31日			エラー	10/04 09:31:03	10/04 09:31:13
InterKX 財務会計	00	タビス旅行	平成23年01月01日～平成23年12月31日			実行中	10/04 09:31:13	

財務データ移行の進捗状況

10%

データベースの作成を実行しています。



◆【中止】を選択すると、次のメッセージが表示されます。【OK】を選択すると、処理中のデータをコンバートしてから中断します。

コンバート実行状況/結果確認

移行処理を中止すると現在処理中のデータ移行が終了した段階で中断します。中止してよろしいですか？



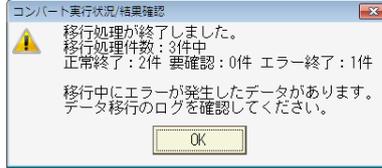
## 5 コンバート完了

コンバートが完了したら結果が表示されます。コンバート結果を確認してください。

移行状況リスト

移行条件/保護設定：各社最新年度のみ保護しない

アプリケーション	会社コード	会社名/個人名	会計年度/会計期間	申告区分	年度	ステータス	開始日時	終了日時
InterKX 財務会計	0	モバイルデータ...	平成24年01月01日~平成24年12月31日			エラー	10/04 09:31:08	10/04 09:31:13
InterKX 財務会計	00	タビス旅行	平成23年01月01日~平成23年12月31日			完了	10/04 09:31:13	10/04 09:33:12
InterKX 財務会計	010	エプソン商事株...	平成24年01月01日~平成24年12月31日			完了	10/04 09:33:13	10/04 09:35:20



## 1.2 コンバート結果の確認

コンバート結果の確認の流れは次のとおりです。

### コンバート結果確認

#### 1 コンバート移行状況確認

コンバートが完了すると、移行状況リストが表示されます。「ステータス」にエラーが表示されている場合は、【結果詳細】を選択してください。すべてのデータが完了になっている場合は、【マニュアル】からコンバート内容の確認と修正を行ってください。

#### 2 エラーデータの確認

コンバートデータの中から、エラーデータの内容を確認します。処理結果を「異常終了」「要確認」に絞り込んで会社を表示できます。対象データを選択して【データ別ログ表示】を選択してください。



- ◆ 異常終了は、R4 アプリケーションにデータが作成されていません。
- ◆ 要確認は、R4 アプリケーションにデータが作成されていますが、移行されていない部分があるなど、確認が必要な状態です。
- ◆ 正常終了は R4 データが正常に作成されています。

### 3 データ別ログの確認

エラーデータのログ内容を確認します。処理内容は、【簡易表示】を選択すると、全体を表示できます。【マニュアル】で、ログを確認して、エラーの対処を行ってください。確認後は【閉じる】で画面を閉じます。

開始時間	詳細結果	ログメッセージコード	処理内容
05/01 19:25:52		1VZWM061007	アプリケーション: InterKX 財務会計 会社コード: 0の移行を開始します。
05/01 19:26:05	異常終了	1VZWM060044	OCY01 エブソン空港 該当データは持出中のため、コンバートできません。データを戻してか...
05/01 19:26:05	正常終了	1VZWM064001	InterKX 財務会計の会社コード: 0、会社名: エブソン空港のデータ利用情報の移行を開始し...
05/01 19:26:06	要確認	1VZWM064003	InterKX 財務会計の会社コード: 0、会社名: エブソン空港のデータ利用情報は、ユーザー: e...
05/01 19:26:06	正常終了	1VZWM064004	InterKX 財務会計の会社コード: 0、会社名: エブソン空港のデータ利用情報の移行は、正常...
05/01 19:26:06	正常終了	1VZWM063011	共通会計情報の確認を開始します。

### 4 コードチェッカー一覧表の確認

作成されたR4データのコードを確認してください。コンバート元と異なるコードが設定されている場合があります。また、複数のアプリケーションを使用している場合、コードが異なっている同一の会社は、同じ共通基本情報に関連付けてください。（「4.コンバートデータの修正方法」を参照してください。）

※あらかじめ、既存のアプリケーションで同一のコードと名称に設定しておけば、同じ共通基本情報に関連付けてコンバートされます。

【コードチェッカー一覧表指定画面】

名称同じでコード違うもの出力



ポイント

- ◆ R4 シリーズでは、各アプリケーション間で同一コードの会社を同一会社として共通基本情報を管理しています。会社情報等の共通の情報を変更する際、関係するデータを一括で変更することができます。
- ◆ R4 シリーズでは、法人・個人区分とコードが同じで、会社名が異なるデータは作成できません。コンバート時にすでに同じコードの別会社のデータが存在していた場合は、コードにCY+連番を付加して作成します。

### 5 R4 データの確認・修正

コンバートログの内容とコードチェッカー一覧表を基に、R4データの確認と修正を行ってください。

データの修正は、各R4アプリケーションからデータを選択して行います。

データのコードの整理は、E i ボードの「管理メニュー」→「共通データのメンテナンス」→「共通基本情報メンテナンス」で行ってください。（「4.コンバートデータの修正方法」を参照してください。）

# 2 事前確認

あらかじめご確認いただきたい内容です。

## 2.1 プログラムについて

### 既存アプリケーションのセットアップについて

コンバートする環境には、既存アプリケーションの対象バージョンがセットアップされている必要があります。



ポイント

◆InterKX の場合は、エプソンメニューがセットアップされている必要があります。

### R4 コンバーターのセットアップについて

コンバートをする場合、必ず R4 アプリケーション (Eiボードを含む) がセットアップされている必要があります。R4 コンバーターは、各アプリケーションプログラムと一緒に提供されます。R4 アプリケーションをセットアップするときに、一緒にコンバーターもセットアップしてください。



ポイント

- ◆R4 コンバーターはR4 アプリケーション共通のプログラムです。アプリケーションの種類ごとにセットアップする必要はありません。
- ◆R4 コンバーターをセットアップ後に、他のR4 アプリケーションを追加でセットアップした場合は、R4 コンバーターをセットアップしなおす必要はありません。
- ◆法改正プログラムがリリースされたら、コンバータープログラムも一緒にバージョンアップしてください。

### R4 コンバーターのセットアップの確認

R4 コンバーターがセットアップされると、R4 アプリケーションの会社選択画面に【コンバーター】のボタンが表示されます。



## 2.2 コンバート対象システム

R4 コンバーターの対象システムは次のとおりです。

コンバート元システム	コンバート先システム
InterKX 財務会計 2014/InterKX 企業支援 /財務応援 Super・Lite/財務応援 Ai 企業会計	財務R4 シリーズすべて
InterKX 電子申告/電子申告応援	電子申告R4、電子申告顧問R4
InterKX 法人税/法人税顧問	法人税R4、法人税顧問R4
InterKX 内訳書・概況書/内訳書・概況書顧問	内訳・概況書R4、内訳・概況書顧問R4
InterKX 給与計算/給与応援 Super 給与応援 Lite/給与・法定調書顧問	給与R4 シリーズすべて
InterKX 報酬請求 EX/報酬請求 EX	報酬請求R4
InterKX 顧問先情報/顧問先情報	顧問先情報R4
相続・贈与税顧問/財産評価顧問	相続税R4、相続税顧問R4
InterKX 所得税/所得税顧問	所得税R4、所得税顧問R4

※消費税顧問、税務申請書顧問 EX はコンバート対象外です。

## 2.3 コンバート対象項目

R4 シリーズへコンバートできる項目は次のとおりです。

コンバート項目	内容等
ユーザー情報	※E i ボードの初回起動時にコンバート画面が表示されます。 ユーザーコード、ユーザー名、ユーザー権限、アプリログイン権限（ログイン不可アプリを設定）
共通マスター	会計事務所情報、税理士氏名、税務署テーブル表示フラグ、市区町村役場表示フラグ、都道府県事務所表示フラグ、（InterKX の場合は掲示板、お気に入り URL もコンバート対象）
会社データ	各アプリの会社データをコンバートします。（コンバート内容はアプリによって異なります。）

## 2.4 コンバート元とコンバート先について

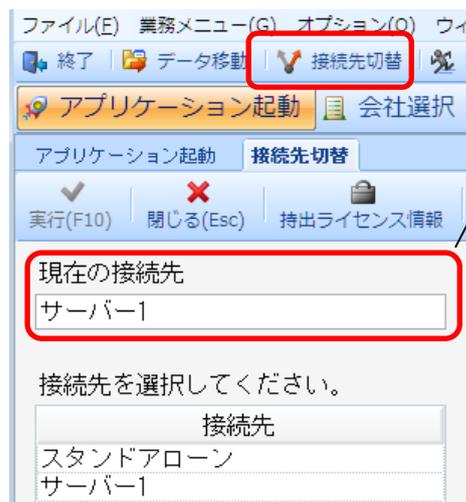
R4 アプリケーションがネットワーク版の場合は、コンバートを行う PC にセットアップされている R4 アプリケーションの接続先がサーバーになっていること(クライアント PC として、サーバーに接続されている状態)にしてください。接続先がスタンドアローン(自分の PC)の場合は、自分の PC 内にデータが作成されてしまいます。



ポイント

◆アプリケーションの接続先は、Eiボードの【接続先切替】を選択すると、「現在の接続先」が確認できます。

【現在の接続先確認画面】



R4 アプリケーションの接続先が確認できます。

◆コンバートの対象として表示されるデータは、R4 コンバーターを起動した PC にセットアップされている既存のアプリケーションで処理できるデータです。ネットワーク版であれば、サーバー上のデータ、スタンドアローン版であれば、その PC に保存されているデータが表示されます。

◆コンバートを行っても、既存アプリケーションには、データが残っています。ただし、アプリケーションによって、コンバート済みが確認できるように変更されています。誤ってコンバートが済んでいるデータに入力しないよう注意してください。

## 2.5 コンバーターと既存アプリの同時処理



ポイント

◆既存のアプリケーションを使用しながら、コンバート処理を行うことができます。

### R4 コンバーターの同時処理

- ・複数のクライアント PC で R4 コンバーターを起動して、サーバーに対して同時にデータを移行することができます。
- ・R4 コンバーターを1台の PC で複数起動することはできません。

### R4 コンバーターと既存アプリの同時処理

- ・1台の PC で、R4 コンバーターとコンバート元の既存アプリケーションの同時処理はできません。
- ・アプリケーションによって、他のクライアント PC での同時処理ができないものがあります。詳細は、各アプリケーションのコンバーターマニュアルをご確認ください。

## 2.6 コンバート実行前の確認事項

コンバートを行う前に、次の点を確認してください。

### ログインユーザーの確認

ネットワーク版の場合は、R4 のユーザー設定が必要です。導入時にEiボードを起動すると、既存のネットワーク基本パックのユーザーをコンバートすることができます。

コンバートを実行するユーザーは、R4 アプリケーションの起動権限と、コンバート元となる既存のアプリケーションの会社を使用する権限（一般ユーザーの場合）が必要です。

ユーザーを設定しなくても R4 アプリケーションを起動してコンバートすることができますが、データに対してデータ利用者の設定がされている場合は、利用者の情報がコンバートされません。



ポイント

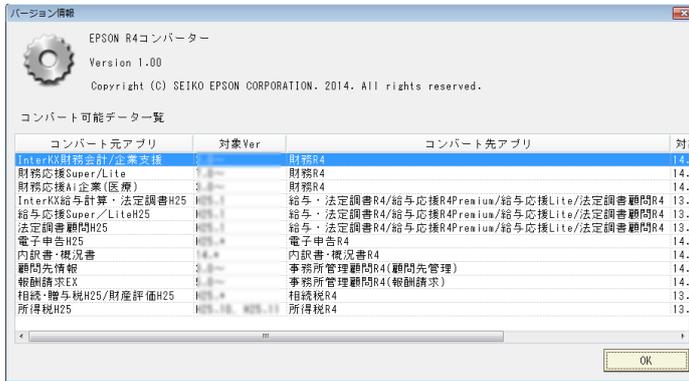
- ◆R4 アプリケーションにログインしているユーザーが一般ユーザーの場合は、既存アプリに同じユーザーが登録されていて、そのユーザーが利用できるデータのみをコンバートすることができます。
- ◆ネットワーク版の場合、既存アプリケーションで管理者設定されているユーザーが存在しない場合は、R4 ログインユーザーがすべての会社をコンバート可能になります。

## 対象データの確認

### ■既存アプリのバージョンの確認

既存アプリの対象バージョンは、コンバートする会社を選択する画面で【バージョン情報】を選択して確認してください。基本は、既存アプリの最新バージョンです。

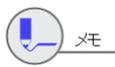
#### 【バージョン情報】



### ■データの状態確認

次のデータはコンバートできません。あらかじめ対処をしてからコンバートを行ってください。

コンバート対象外データ	対処
モバイル持ち出し中会社	サーバーに返却してください。
Weplat データ共有会社	データ共有を解除してください。
既存アプリで使用中の会社	既存アプリでの処理を終了してください。
コンバート済み会社	R4 アプリでコンバートされた会社を削除してください。



◆InterKX シリーズでサブサーバーをお使いになっている場合は、データをサーバーに戻してからコンバートしてください。

# 3 各機能の説明

R4 コンバーターの機能別の説明です。

## 3.1 コンバーターの画面構成

R4 コンバーターを起動するとコンバート対象会社選択画面になります。画面の構成は次のとおりです。

【R4 コンバーター起動画面】

The screenshot shows the R4 Converter start screen. At the top is a menu bar with items: 閉じる, 実行, 検索, 実行結果確認, 移行条件設定, コードチェッカー一覧表, バージョン情報, マニュアル. Below the menu bar is the '移行データリスト' section. It contains a table with columns: 選択, アプリケーション, 会社コード, 会社名/個人名, 会計年度/会計期間, 申告区分, 年度, 移行状況. There are also buttons for '全選択' and '全解除', and a section for '移行条件/保護設定' with radio buttons for '表示しない' and '表示する'.

①メニューバー	閉じる：R4 コンバーター画面を閉じます。 実行：選択されているデータのコンバートを開始します。 検索：データを検索して表示します。 実行結果確認：コンバート結果を確認します。 移行条件設定：移行条件を設定します。 コードチェッカー一覧表：会社コードのチェックを行います。 バージョン情報：コンバーターのバージョンを表示します。 マニュアル：コンバーターのマニュアルを表示します。
②移行済みデータ	移行済みデータを表示するかしないかを選択します。
③移行条件/保護設定	移行条件設定で設定されている内容を表示します。
④全選択/全解除	対象選択のチェックボックスを全選択、全解除します。
⑤データリスト	コンバート対象の既存アプリケーションのデータを表示します。

## 3.2 検索

【検索】を選択すると、検索条件を指定してコンバート対象データを表示することができます。

移行対象データ選択 検索条件指定

閉じる 検索 クリア

一致条件  前方一致  部分一致  後方一致

検索条件

アプリケーション

会社コード

会社名/個人名等

期首年月日  から

(指定範囲)  まで

(開始日のみを指定すると、開始日以降の検索となります)  
(終了日のみを指定すると、終了日までの検索となります)

申告区分

一致条件	指定する条件の一致条件を設定します。 前方一致：前方からの文字で検索 部分一致：部分文字で検索 後方一致：後方文字で検索	
検索条件	アプリケーション	アプリケーションの名称
	会社コード	会社コード
	会社名/個人名	データ名
	期首年月日	期首年月日
	申告区分	申告区分

## 3.3 実行結果確認

実行結果確認では、コンバート単位(3回コンバートすれば3行)の実行結果を表示します。コンバート単位のコンバートした会社データは、【移行データ明細】で確認します。



◆ログの詳細や対処方法は、【ログ一覧】で確認してください。

【実行結果確認画面】

閉じる 検索実行 移行データ明細 ファイル出力 マニュアル

検索条件

実行ユーザー: EPSON 実行端末名: mmsd056

移行実施日: ~ 処理結果:  異常終了

実行結果リスト

移行開始日時	移行終了日時	移行種類	移行データ	実行ユーザー	実行端末名	処理結果
2014/04/28 13:24	2014/04/28 13:24	個別	会社データ	EPSON	mmsd056	要確認
2014/04/28 13:26	2014/04/28 13:26	個別	会社データ	EPSON	mmsd056	異常終了
2014/04/28 13:27	2014/04/28 13:28	個別	会社データ	EPSON	mmsd056	正常終了
2014/05/07 14:18	2014/05/07 14:18	個別	会社データ	EPSON	mmsd056	要確認
2014/05/07 15:12	2014/05/07 15:23	個別	会社データ	EPSON	mmsd056	要確認

コンバートの結果を確認

検索実行	検索条件を設定して、表示されるデータを絞り込みます。要確認、異常終了等の条件で絞り込んでください。
移行データ明細	確認したいデータ単位を選択して、データ別に、異常終了となった原因などのログを表示します。

検索条件	実行ユーザー/実行端末名/移行実施日で検索できます。	
ファイル出力	ログをファイル出力することができます。	
実行結果リスト	移行開始日時	コンバートの開始日時、終了日時
	移行終了日時	
	移行種類	個別
	移行データ	会社データ
	実行ユーザー	コンバートを実行したユーザー名
	法人名/個人名	データ名
	実行端末名	コンバーターを実行した端末名のコンピューター名
処理結果	正常終了：正常にコンバートされました。 要確認：コンバートデータの確認が必要です。 異常終了：コンバートされていません。	



◆ログの詳細や対処方法は、【ログ一覧】で確認してください。

## 移行データ明細

コンバートで作成された会社データの一覧と、処理結果を確認します。

【移行データ明細画面】

The screenshot shows a software interface with the following elements:

- Navigation tabs: 開じる, 検索実行, データログ表示, ファイル出力, マニュアル
- Search filters:
  - 検索条件: 会計期間: [ ] ~ [ ]
  - 一致条件:  前方一致  部分一致  後方一致
  - コード: [ ]  旧コード  新コード
  - 法人名/個人名: [ ]
  - 申告区分: [ ]
  - 処理結果:  正常終了  要確認  異常終了
- 実行結果リスト table:
 

開始日時	終了日時	アプリケーション	旧コード	新コード	法人名/個人名	会計期間	申告区分	処理結果
05/07 14:15	05/07 14:27	財務会計R4	0	0CY01	エブソンラン...	平成25年01月01日~平成25年12月31日		正常終了
05/07 14:15	05/07 14:27	財務会計R4	0	0CY02	エブソン空港	平成23年01月01日~平成23年12月31日	決算	異常終了
05/07 14:17	05/07 14:27	財務会計R4	0	0CY03	エブソン貿易...	平成23年01月01日~平成23年12月31日		正常終了
05/07 14:18	05/07 14:27	財務会計R4	0	0CY04	タビス電子	平成22年01月01日~平成22年12月31日		正常終了
05/07 14:20	05/07 14:27	財務会計R4	00	00	タビス旅行	平成23年01月01日~平成23年12月31日		正常終了
05/07 14:21	05/07 14:27	財務会計R4	010	010	エブソン商事...	平成24年01月01日~平成24年12月31日		正常終了

検索実行	検索条件を設定して、表示されるデータを絞り込みます。要確認、異常終了等の条件を指定して、実行してください。	
移行データ明細	確認したいデータを選択して、データ別に、異常終了となった原因などのログを表示します。	
検索条件	会計期間/コード（旧コード・新コード）/法人名/個人名/申告区分で検索できます。	
ファイル出力	ログをファイル出力することができます。	
実行結果リスト	移行開始日時	コンバートの開始日時、終了日時
	移行終了日時	
	アプリケーション	コンバート先の R4 アプリケーション
	旧コード	旧会社データ
	新コード	新会社コード
	法人名/個人名	データ名
	会計期間	会社データの会計期間
申告区分	会社の申告区分	

	処理結果	正常終了：正常にコンバートされました。 要確認：コンバートデータの確認が必要です。 異常終了：コンバートされていません。
--	------	--

## データ別ログ表示

コンバートで作成された会社データの詳細な処理内容を確認します。異常終了、要確認となった内容を確認してください。

### 【データ別ログ表示画面】

開始時間	各処理の開始時間を表示します。
詳細結果	正常終了：正常に処理されました。 要確認：処理が終了しましたが、確認が必要です。 異常終了：処理を完了できませんでした。
ログメッセージコード	ログのメッセージコードを表示します。 ログ一覧を確認するときにコード確認できます。
処理内容	処理内容を表示します。

## ファイル出力

データ別ログ、移行データ明細の結果を CSV または Excel ファイルで出力します。作成先は、移行条件設定画面で設定した場所が初期値として表示されます。

### ■データ別ログのファイル出力

#### 【ファイル出力画面】



- ◆ファイル名は¥会社データ別明細\_ログ年月日で出力します。  
2回目以降は上書きされないよう、¥会社データ別明細\_ログ年月日\_1  
など、番号が付加されます。
- ◆「明細出力する」を選択すると会社データごとの明細のログが出力されます。

## ■ 移行データ明細のファイル出力

### 【ファイル出力画面】



メモ

◆ファイル名は¥会社データ明細(1社)\_ログ年月日で出力します。  
2回目以降は上書きされないよう、¥会社データ明細(1社)\_ログ年月日\_1 など、番号が付加されます。



注意

◆Excel ファイルの出力は、ログの行数が増えると処理に時間がかかります。(環境によりますが、5,000 行で 20 分以上)。行数が多い場合は、必要に応じて、CSV ファイルで出力してください。

## 3.4 移行条件設定

移行条件設定では、コンバート処理の条件を設定します。

### 【移行条件設定画面】

移行中のエラー  
発生時の動作

確認メッセージなし:

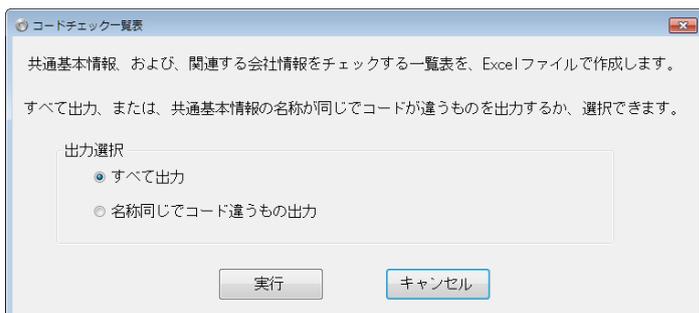
エラーデータをスキップして次に進みます。PCの前で待機しなくても、指定したデータのコンバート処理を一旦は完了することができます。

	<p>確認メッセージあり:</p> <p>エラーメッセージが表示されたときに、その画面を閉じるまでは、次のデータのコンバートに進みません。</p>
ファイル設定	<p>ログ出力先を指定します。ネットワーク版の場合は、サーバーのフォルダーを指定することで各クライアントからログの確認ができます。</p>
コンバート後の基本情報の保護	<p>コンバートで作成されたR4 データを保護状態とするか、どうかを設定します。保護するとしたデータは、読み取り専用になり、保護を解除するまでは、データの変更はできません。</p> <p>1.すべて「保護＝書込禁止」状態にする:すべて保護状態になります。</p> <p>2. すべて「保護＝書込禁止」状態にしない:すべて通常状態です。</p> <p>3.同一会社データを複数年度まとめてコンバートする場合…:</p> <p>1 回に同一の会社の複数の事業年度の会社データをコンバートした場合に、最新事業年度の会社データを「保護しない」に設定します。同一の会社とは、「法人/個人区分+コード+会社名」が同じ会社です。</p>
空き容量チェック	<p>コンバート時の空き容量チェック</p> <p>コンバート先のハードディスクドライブの容量が何メガになったらコンバートを中止するかを設定します。特にCドライブは、ディスク容量いっぱいまで使用すると、Windows の動作に影響が出る可能性がありますのでご注意ください。</p>

### 3.5 コードチェッカー一覧表

コードチェッカー一覧表では R4 シリーズの共通基本情報（データのコードと名称）と、関連付けられているアプリケーションのデータを確認できます。複数のアプリケーションを使用している場合は、作成されたデータのコードやデータの関連付けを確認、修正してください。

【コードチェッカー一覧表作成画面】



★		共通基本情報		アプリケーション別会社情報						
法人個人	コード	共通基本情報名	反映フラグ	アプリケーション名	コード	会社名	期首年月日	期末年月日	区分	保護
法人	0805	(サンプル) エプソン電気株式会社	する	財務会計R4 2013	0805	(サンプル) エプソン電気株式会社	2012/04/01	2013/03/31		しない

コードチェッカー一覧表は、次のポイントで確認してください。



◆コードチェックを行った後の具体的な操作は、「4.コンバートデータの修正方法」をご確認ください。

■同じ会社なのに、アプリケーションによって異なるコードになっていないか。

例) 給与のデータが、他のアプリケーションと別の共通基本情報に関連付けられている。

→同一会社は同じ共通基本情報に関連付けてください。

共通基本情報		アプリケーションのデータ	
001	山田商事	法人税	山田商事
		財務	山田商事
002	山田商事	給与	山田商事

給与のデータが分かれている

■データのコードが、既存のデータと異なっていないか。

例) コードに CY が付加されているものがある。

→必要に応じて、コードを変更してください。

共通基本情報		アプリケーションのデータ	
001	エプソン産業	財務	エプソン産業
001CY01	山田商事	財務	山田商事
001CY02	タビスランド (株)	財務	タビスランド (株)

コードに CY が付加されている



◆R4 シリーズでは、区分(法人・個人)とコードが同じ会社を同一会社として共通基本情報を管理しています。複数の R4 アプリケーションを使用している場合は、同一会社は、各アプリケーションで同一の共通基本情報(同一コード)で管理してください。

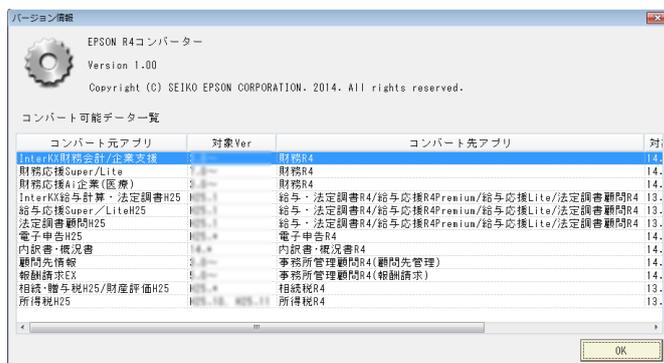
◆コードに CY が付加されていたら、コードを見直してください。

既存のアプリケーションは、同一コードで異なる会社のデータを作成することができたため、データをコンバートするときに既に同じコードのデータがあった場合は、コードに CY+連番を付加してデータを作成しています。既存のデータとコードが異なりますので、見直してください。

## 3.6 バージョン情報

コンバート元やコンバート先の対象となるアプリケーションのバージョンを確認できます。

### 【バージョン情報】



## 3.7 【参考】同一会社の判定について

データのコンバート時に、既に同一コードで同一名称のデータがあれば、同じ会社とみなして同じ共通基本情報に関連付けますが、全く同じ名称でなくても、次の条件の場合は同一会社として判定します。条件からはずれた場合は会社コードにCY+連番を付加して、別会社として新規に共通基本情報を作成してデータに関連付けます。

- ・英数字の小文字／大文字は同一と判定します。(EPSON商事と **epson** 商事)
- ・英数字の全角／半角は同一と判断します。(EPSON商事と EPSON 商事)
- ・中点の小文字／大文字は同一と判定します。(タビス・ランドとタビス・ランド)
- ・中点の有無は、はずして同じであれば同一と判定します。(タビス・ランドとタビスランド)
- ・カタカナの全角／半角は同一と判定します。(タビス商事とタビス商事)
- ・スペースの全角／半角は同一と判定します。(タビス 東京とタビス 東京)
- ・スペースの有無は、はずして同一であれば同一と判定します。(タビス 東京とタビス東京)



- ◆上記条件に該当しない場合は会社コードにCY+連番を付加して、共通基本情報を新規に作成します。
- ◆上記条件でも別会社としたい場合は、あらかじめコードまたは会社名を変更しておくことで、別会社となります。

# 4 コンバートデータの修正方法

コンバートが完了したデータは、次の手順で確認、修正してください。

## 4.1 会社コードの変更方法

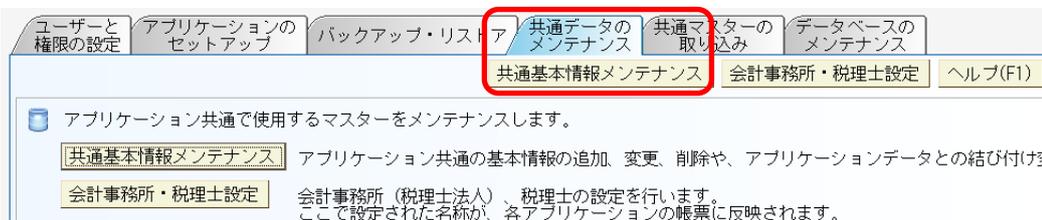
Eiボードの共通基本情報メンテナンスで会社コードを変更することができます。各アプリケーションで変更する場合は、会社選択画面の【共通基本情報】で行ってください。また、既に存在するコードに変更する場合は、「4.2 共通基本情報の関連付けを変更する方法」で変更することができます。

### 操作

- ① Eiボードを起動し、管理メニューを選択します。



- ② 共通データのメンテナンスタブの【共通基本情報メンテナンス】を選択します。



- ③ 「666 エプソン電気(株)」のコードを変更します。【変更】を選択します。



- ④ 「0CY01」財務応援株式会社の共通基本情報変更画面が表示されます。  
コードを変更して【確定】を選択します。

法人個人区分  法人  個人

基本情報

コード ※  コードを変更

法人名 ※

フリガナ

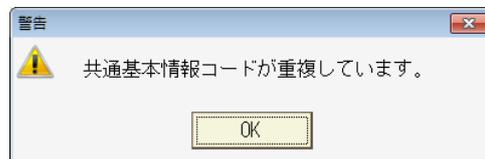
ふりがな

郵便番号

住所

※既に同じコードの共通基本情報が存在している場合は、「共通基本情報コードが重複しています。」と表示されます。この場合は、存在していない別のコードに変更してください。

※既に存在しているコードに変更する場合は、「4.2 共通基本情報の関連付けを変更する方法で行ってください。」



- ⑤ コードが変更されています。アプリケーションでデータを選択すると変更後の内容が反映されます。

追加(A)... 変更(U)... 削除(D)... 切取(X) 貼付(Y)

コード :  で始まる 共通基本情報名 :  絞り込み

アプリケーションデータが無い共通基本情報のみ対象

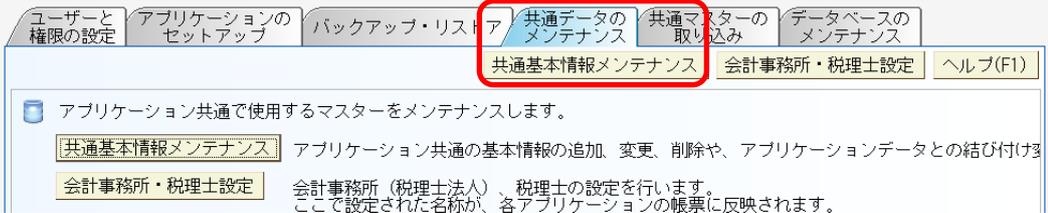
共通基本情報

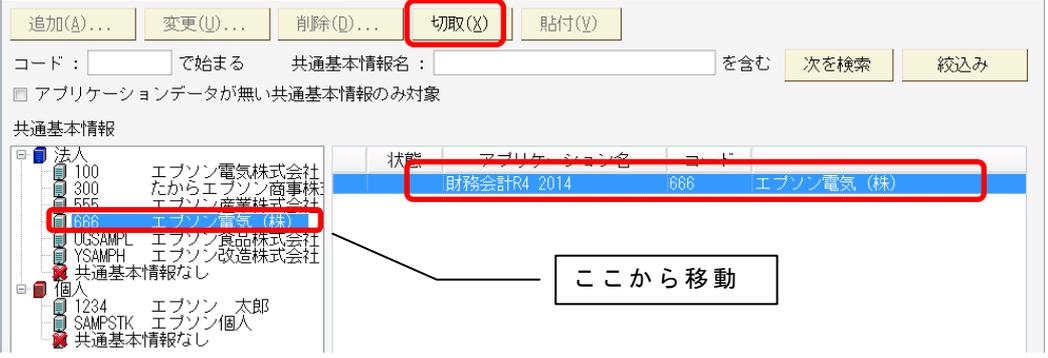
法人	状態	アプリケーション名	コード	共通基本情報名
100 エプソン電気株式会社				
101 エプソン電気 (株)		財務会計R4 2014	666	エプソン電気 (株)
300 たからエプソン商事株式会社				
555 エプソン産業株式会社				
UGSAMPL エプソン食品株式会社				
YSAMPH エプソン改造株式会社				

## 4.2 共通基本情報の関連付けを変更する方法

複数のアプリケーションを使用する場合、同一会社は、同じ共通基本情報に関連付けておくと、会社の住所などの共通情報を一括で変更することができます。関連付けの変更は、次の手順で行います。関連付けを変更すると、データのコードも変更されます。

**操作**

- Ei ボードを起動し、管理メニュー  を選択します。
- 共通データのメンテナンスタブの【共通基本情報メンテナンス】を選択します。  


アプリケーション共通で使用するマスターをメンテナンスします。  
共通基本情報メンテナンス アプリケーション共通の基本情報の追加、変更、削除や、アプリケーションデータとの結び付け  
会計事務所・税理士設定 会計事務所（税理士法人）、税理士の設定を行います。  
ここで設定された名称が、各アプリケーションの帳票に反映されます。
- 「666 エプソン電気(株)」を「100 エプソン電気株式会社」へ関連付けを変更します。  
「666 エプソン電気(株)」を選択して、【切取】を選択します。  


追加(A)... 変更(U)... 削除(D)... **切取(X)** 貼付(Y)

コード: [ ] で始まる 共通基本情報名: [ ] を含む 次を検索 絞り込み

アプリケーションデータが無い共通基本情報のみ対象

共通基本情報

法人	エプソン電気株式会社	状態	アプリケーション名	コード	
100	エプソン電気株式会社		財務会計R4 2014	666	エプソン電気(株)
300	たからエプソン商事株				
555	エプソン産業株式会社				
666	エプソン電気(株)				
UGSAMPL	エプソン食品株式会社				
YSAMPH	エプソン改造株式会社				
	共通基本情報なし				
個人					
1234	エプソン 太郎				
SAMPSTK	エプソン個人				
	共通基本情報なし				

ここから移動
- 「100 エプソン電気株式会社」を選択して、【貼付】を選択します。  

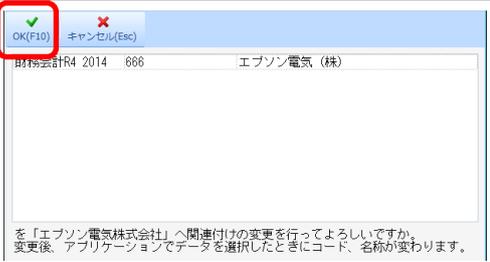

追加(A)... 変更(U)... 削除(D)... 切取(X) **貼付(Y)**

コード: [ ] で始まる 共通基本情報名: [ ] を含む 次を検索 絞り込み

アプリケーションデータが無い共通基本情報のみ対象

共通基本情報

法人	エプソン電気株式会社	状態	アプリケーション名	コード	
100	エプソン電気株式会社		財務会計R4 2014	100	エプソン電気株式会社
300	たからエプソン商事株		法人税R4 平成25年度	100	エプソン電気株式会社
555	エプソン産業株式会社				
666	エプソン電気(株)		内訳・概況書R4	100	エプソン電気株式会社
UGSAMPL	エプソン食品株式会社				
YSAMPH	エプソン改造株式会社				
	共通基本情報なし				
個人					
1234	エプソン 太郎				
SAMPSTK	エプソン個人				
	共通基本情報なし				

移動先を選択
- 移動する会社「エプソン電気(株)」が表示され、「エプソン電気株式会社」へ関連付けの変更を行ってよろしいですか。変更後、アプリケーションでデータを変更したときにコード、名称が変わります。」と表示されます。  
【OK】を選択します。  


OK(F10) キャンセル(Esc)

財務会計R4 2014 666 エプソン電気(株)

を「エプソン電気株式会社」へ関連付けの変更を行ってよろしいですか。  
変更後、アプリケーションでデータを選択したときにコード、名称が変わります。

⑧ 「100 エプソン電気株式会社」に関連付いています。

状態	アプリケーション名	コード	共通基本情報名
	財務会計R4 2014	100	エプソン電気株式会社
	法人税R4 平成25年度	100	エプソン電気株式会社
	内訳 - 概況書R4	100	エプソン電気株式会社
	財務会計R4 2014	100	エプソン電気 (株)

アプリケーションでデータを選択すると、移動先の共通基本情報の内容が反映されます。



- ◆会社データの移動は、マウスのドラッグアンドドロップ(会社を左クリックで選択したまま移動して、移動先で離す)でも可能です。
- ◆データがない共通基本情報は、削除することができます。削除することで、該当のコードを使用することができます。共通基本情報メンテナンス画面で削除する共通基本情報を選択して【削除】を選択してください。確認画面で【OK】を選択すると削除されます。

## 4.3 その他の確認内容

Eiボードで、データのコードや共通基本情報の関連付けの確認が完了したら、各アプリケーションでコンバートされたデータを確認してください。確認する項目は、各アプリケーションのコンバーターマニュアルに記載されています。変更における操作は、各アプリケーションの操作マニュアルをご確認ください。

## 4.4 コンバートデータの容量換算 (参考)

システム別のコンバートデータの容量は次の通りです。

既存アプリケーション	R4 アプリケーション	必要空き容量 (約)
財務会計、財務応援	財務 R4	0.6 × 既存 1 社データ容量 + 9MB (1 社当たりの容量)
財務応援 Ai	財務 R4 Premium	0.5 倍
電子申告	電子申告 R4	1.5 倍
法人税	法人税 R4	3.0 倍
内訳書・概況書	内訳・概況書 R4	3.3 倍
所得税	所得税 R4	27 倍 (1 社約 300KB × 27 倍)
給与計算・法定調書	給与・法定調書 R4	3.0 倍
顧問先情報	事務所管理 R4	4.5 倍
報酬請求 EX	事務所管理 R4	2 倍

以上

## 4.5 コンバートログ一覧

メッセージコード	詳細結果	メッセージ内容	表示条件／対応
IYZMGM040001		ユーザー情報の移行を開始しました。	Eiボードの初回起動時にユーザーが移行されます。
IYZMGM040002		ユーザーの変換が正常に終了しました。	Eiボードの初回起動時にユーザーが移行されます。
IYZMGM040007		ユーザー情報の移行がキャンセルされました。	Eiボードの初回起動時にユーザーが移行されます。
IYZMGM052001		{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {情報名}情報の移行を開始しました。	
IYZMGM052004		{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {会計事務所／税理士／お気に入り URL 情報}情報の{会計事務所コード／税理士 ID／URL 番号／年}- {会計事務所名／税理士名／URL 名称}の移行が正常に終了しました。	
IYZMGM052005		{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {会計事務所／税理士／お気に入り URL 情報}情報の{URL 番号}- {URL 名称}のデータは、移行先に既に同一のデータが存在するので移行しませんでした。	
IYZMGM052006		{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {掲示板}情報の移行は、移行先に既に 同一のデータが存在するので移行しませんでした。	
IYZMGM052009		{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {税務署／市区町村役場／都道府県 税事務所}情報の{税務署コード／市区町村役場コード／都道府県 税事務所コード}- {コードに対する(官公庁)名称}の表示フラグの更新に成功しました。	
IYZMGM061002		アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行が正常に終了しました。	
IYZMGM061007		アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行を開始します。	
IYZMGM061010		アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行が終了しました。警告が発生している箇所があります。	
IYZMGM061011		アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行が終了しました。異常終了している箇所があります。	

IYZMGM061012		中止処理が行われたので、アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行を中止しました。	
IYZMGM061013		移行先ハードディスク容量チェックができません。	移行先サーバーとの通信エラー等で発生します。通常は発生しません。
IYZMGM090019		〇〇の電話番号の値を{0354325678}から{03-5432-5678}に変更しました。 ・会社マスタの税理士電話番号 ・共通基本情報マスタ(法人)の共通基本情報電話番号* ・従業員マスタの電話番号 ・市町村マスタの電話番号	ハイフン付電話番号に変換  * 共通基本情報が既に登録されている場合は、会社基本情報変更を上書
IYZMGM052008	警告	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアローン}環境のデータベース種類}DB {会計事務所}情報の{会計事務所コード}-{会計事務所名}の所轄税務署名:{所轄税務署名}の税務署コードが取得できませんでした。NULLを設定します。	移行対象の税務署コードが、Eiボードの税務署マスタに存在しない場合に出力されます。 Eiボード上で税務署マスタに税務署コードを登録してください。
IYZMGM064002	警告	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}のデータ利用情報は、ユーザー:{ユーザー名}が存在しない為、移行されませんでした。	ユーザー情報の移行を行わずに、既存のデータ利用管理を行っている会社データを移行した場合に出力されます。 ①移行した会社データにデータ利用権限を付けたい場合 →Eiボードでデータ利用権限を付けて下さい。 ②他にも移行するデータがあり、そのデータにはデータ利用権限を付けたい場合 →R4システムで移行したデータを全て削除します。(1件でもデータが登録されているとユーザー情報の移行はできないため) ※ユーザー情報の移行を行った後、会社データの移行を行って下さい。
IYZMGM064003	警告	ユーザー情報が存在しない為、データ利用情報の移行は行われませんでした。	IKX とネットワーク版のみで表示されるメッセージです。ユーザー情報の移行が行われずに、データ利用管理が行われている会社データを移行した場合に発生します。ユーザー情報を事前に移行する必要があります。
IYZMGM064004	正常終了	会社コード:、会社名:のデータ利用情報は、正常に終了しました	
IYZMGM052011	正常終了	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアローン}環境の{データベース種類}DB {会計事務所/税理士/お気に入り	

		URL 情報}情報}の移行が正常に終了しました。(移行件数:{XXXXX}件中 正常:{XXXXX}件 警告:{XXXXX}件 読み飛ばし{XXXXX}件)	
IYZMGM052012	正常終了	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアロン}環境の{データベース種類}DB {会計事務所/税理士/お気に入り URL 情報}情報}情報の移行が終了しました。(移行件数:{XXXXX}件中 正常:{XXXXX}件 警告:{XXXXX}件 読み飛ばし{XXXXX}件)	警告件数がある場合に表示されるメッセージです。
IYZMGM052020	正常終了	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアロン}環境の{データベース種類}DB {会計事務所/税理士/お気に入り URL 情報}情報}情報の移行処理を中断しました。(移行件数:{XXXXX}件中 正常:{XXXXX}件 警告:{XXXXX}件 読み飛ばし{XXXXX}件)	[キャンセル]クリック時点の、移行済みの{会計事務所/税理士/お気に入り URL 情報}の情報が出力されません。
IYZMGM063001	正常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}の共通会社情報の構築を開始しました。	
IYZMGM063002	正常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}の{テーブル名}の{項目名}を{テーブル名}の{項目名}へ{登録値}で登録しました。	
IYZMGM063006	正常終了	会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}から、共通基本情報会社管理マスタへ新規登録を行いました。	
IYZMGM063008	正常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}からの共通会社情報の構築は、正常に終了しました。	
IYZMGM064001	正常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}のデータ利用情報の移行を開始しました。	IKX とネットワーク版のみで表示されるメッセージです。
IYZMGM064004	正常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}のデータ利用情報は、正常に終了しました。	IKX とネットワーク版のみで表示されるメッセージです。
IYZMGM090005	正常終了	会社:〇〇 データベースを作成しました。	
IYZMGM090006	正常終了	テーブル:〇〇の移行が正常終了しました。	
IYZMGM052013	異常終了	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアロン}環境の{データベース種類}DB {会計事務所/税理士/お気に入り URL 情報}情報}情報の移行が正常に終了しませんでした。詳細はエラーコードとエラー内容を確認して下さい。	共通マスタ移行処理が正しく移行できなかったときに表示されます。エラーコードをお知らせください
IYZMGM061003	異常終了	アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行に失敗しました。(エラーコード{IAZMG-XXXXX}:[{〇〇〇〇}])	移行処理に失敗したときに表示されます。エラーコードをお知らせください。

IYZMGM061008	異常終了	アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行で予期せぬエラーが発生しました。(エラー発生箇所:{○○○○}:{○○○○})	予期せぬエラーが発生した場合に表示されます。移行元、移行先のプログラムが正しく処理できることを確認の上、再コンバートをお試してください。コンバートできない場合は、エラー発生箇所をお知らせください。
IYZMGM061009	異常終了	移行先ハードディスク容量の空きが不足しています。	移行先ハードディスクの空き容量を確認してください。
IYZMGM090008	異常終了	{会社コード:会社名}データベース作成に失敗しました。	なんらかの理由によりデータベースが作成できなかったときに表示されます。
IYZMGM090010	異常終了	{会社コード}{会社名}会社データが重複しています。	移行先に既に同一会社コード・会社名・年分の会社データが(コンバート以外の方法で)登録済みのときに表示されます。必要に応じて、登録済みのデータを削除し、コンバートしてください。
IYZMGM090031	異常終了	{テーブル名}の移行でエラー発生しました。	移行途中でなんらかの理由によりテーブル等の移行が正常にできなかったときに表示されます。
IYZMGM090033	異常終了	アプリケーション移行用のメッセージリソースの作成が失敗しました	移行途中でなんらかの理由によりメッセージファイルの作成に失敗したときに表示されます。
IYZMGM090041	異常終了	{会社コード}{会社名}:{対象レコードが見つかりません。}ログインのロックに失敗しました。 (可変部分他、「対象レコードが複数見つかりました。」)	ネットワーク版の場合 既存アプリケーションへのログイン禁止処理で、テーブル更新エラー発生で表示されます。
IYZMGM090042	異常終了	{会社コード}{会社名}:{対象レコードが見つかりません。}ログインのロックに失敗しました。 (可変部分他、「対象レコードが複数見つかりました。」)	ネットワーク版の場合 既存アプリケーションへのログイン禁止解除処理で、テーブル更新エラー発生で表示されます。
IYZMGM090044	異常終了	{会社コード}{会社名}該当データは持出中のため、コンバートできません。データを戻してから再度コンバートして下さい。	モバイル持ち出し中のデータをコンバートしようとする则表示されます。データを返却してからコンバートしてください。
CKYUY0001	異常終了	{会社コード}{会社名}:パターンファイルの読み込みに失敗しました	例外的なエラーです。通常は発生しません。
CKYUY0002	異常終了	{会社コード}{会社名}:{○○○}テーブル移行情報の初期化に失敗しました。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
CKYUY0003	異常終了	{会社コード}{会社名}:新規会社の会社管理情報の取得に失敗しました。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
CKYUY0032	異常終了	{会社コード}{会社名}:共通基本情報の取得に失敗しました。	例外的なエラーです。通常は発生しません。

IYZMGM052007	異常終了	{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {会計事務所／税理士／お気に入り URL 情報}情報の {会計事務所コード／税理士 ID／URL 番号／年}・{会計事務所名／税理士名／URL 名称}の移行に失敗しました。(エラーコード{XXXXX}:{[O O O O]})	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM063007	異常終了	会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}から、共通基本情報会社管理マスタへ新規登録が行えませんでした。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM063009	異常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}からの共通会社情報の構築に失敗しました。データ移行のログを確認して下さい。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090001	異常終了	既存環境アプリケーション DB の ODBC のセットアップ処理が正常に終了しませんでした。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090002	異常終了	既存環境共通 DB の ODBC のセットアップ処理が正常に終了しませんでした。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090003	異常終了	既存環境アプリケーション DB への接続に失敗しました。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090004	異常終了	既存環境共通 DB への接続に失敗しました。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090040	異常終了	{会社コード}{会社名}:既存環境の共通 DB からログインユーザー情報の取得に失敗しました。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090045	異常終了	{会社コード}{会社名}該当データの持出確認で、予期しないエラーが発生しました。(エラーコード:{XXXXX}:{[XXXXX]})	例外的なエラーです。通常は発生しません。

以上